



【学校教育目標】 社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

令和 5 年 11 月 1 日
京都市立東山泉小中学校
校長 岩田 智典

泉だより

No.8



5年生花背山の家宿泊学習「自立・協力・挑戦・感謝」

今年度から花背山の家宿泊学習が 2 泊 3 日に戻り、5 年生は秋の花背を満喫する体験が出来ました。天狗杉登山では全行程 5 時間にも及ぶ山歩きでしたが、5 年生はそこから大きな経験を積んでくれたようです。「山の登りでも力を合わせ、みんなといっしょにいる中で、自分のことよりみんなのことを考えている自分がいて、あれ?と思った。そこが成長出来たことだと思います。」この児童の感想のように、集団の中で成長している気持ちの変化が見られます。5 年生の 11 歳という年齢は、※マズローの欲求 5 段階説による



と他者と関わりたい、集団に属したいという社会的欲求の段階に入っていきます。「他者とうまく関わるためにどうしたら良いか」「自分の集団の中での存在意義は何か」このような経験を経て子どもは成長していきます。5 年生の時期に、自然体験の宿泊学習を行うことはある意味最適の時期だといえます。5 年生の集団の、今後の更なる成長を期待したいと思います。

※マズローの欲求 5 段階説 人間の成長の過程での欲求は、生理的欲求→安全欲求→社会的欲求→承認欲求→自己実現欲求と進んでいくという考え方。

体育大会「全笑！みんなの力で盛り上げよう」

10 月 12 日、東山泉が 1 年間で一番大切にしている行事である体育大会が好天の下、行われました。1 年生から 9 年生が一堂に会し、取り組んでいたことをお互いに交流するのは、1 年に 1 回、この体育大会のみです。そして、この日を迎えるに当たって、学舎をどうつなげるかという工夫が事前になされていました。体育大会の縦割りの色分けは 3 色あり、色別に応援することになります。その際の応援



のやり方をどうそろえるのか。東学舎の応援担当の子どもたちが工夫したのは、自分たち応援の映像を撮り、その映像を西学舎の子どもに見てもらい、練習するという方法。そして迎えた当日、「がんばれがんばれ青組!」「勝て、勝て勝て赤組!」「行け、行け行け行け白組!」と、どの色も見事に声援がそろっていました。声がそろくと不思議と一体感が生まれます。色別縦割りの応援に熱が入り、競技が終わるごとに熱い声援が飛び交っていました。その声援に背中を押されてか、どの学年もこの日に向けて取り組んできた練習の成果を、一生懸命出し切ることが出来ました。

また、9 年生の姿も立派でした。東山泉 9 年の恒例となった「ソーラン節」での力強い演技など、下級生の憧れとなるような姿を示してくれました。大会の後、西学舎の子どもたちが、「もっと 9 年生とお話があったかった」とロタに言っている場面がありました。

子どもは集団の中で、1 日あれば大いに成長します。体育大会のスローガン「全笑！みんなの力で盛り上げよう」という言葉通りの 1 日になりました。この日を境に、東山泉の子どもたちの心に温かい交流の気持ちが湧いてくることを願っています。

